

## 「いきいき」とした市場、売り場、地域づくりを推進します

宝酒造では、お客様をはじめ地域や社会に貢献できるように、お取引先や関連団体と協力して、さまざまな取り組みを行っています。



### ■お客様にとってよい売り場とは何かを考えます

宝酒造では、お取引先のニーズにおこたえすると共に相互協力関係を強化し、お客様にとってより良い売り場づくりに取り組んでいます。

#### リテイルサポートシステム

売り場づくりをお手伝いする仕組みとして、宝酒造では「リテイルサポートメニュー」を各種ご用意しています。これはお取引先との協業により、魅力あるお酒売り場を構築するためのシステムです。このメニューを活用することで、お客様にお買い物を楽しんでいただける売り場や、お客様にもっとお酒を知っていただくための売り場づくりをめざしています。



ご案内パンフレット

#### TaKaRa リテイルサポートの考え方

##### 顧客第一主義

TaKaRaはお客様の満足を追求します。

- 楽しく買い物をしていただくために
- もっとお酒のことを知っていただくために
- お酒のある暮らしを楽しんでいただくために

##### 幅広いサポートメニュー

TaKaRaは売場全体の改善支援から、単一カテゴリーの棚割提案までニーズに合わせて幅広く対応します。

##### オーダーメイド

TaKaRaのリテイルサポートは、画一的な分析だけでなく、個性を伸ばすオリジナルの分析をもとにご提案をお届けします。

#### 大陳コンクール

松竹梅「天」の店頭での陳列ボリュームや演出方法を競う「大陳\*コンクール」を実施。お取引先と宝酒造の担当セールスがー丸となって、よりよい売り場、お客様が選びやすい売り場づくりを競いました。これは店舗活性化の一助になっています。

\*大陳…大量陳列



大陳コンクールのグランプリ受賞店

### ■商品を通じて地域の活性化を支援します

焼酎「JAPAN」のデザイン特性を活かして、ご当地の名所やイベントなどをデザイン化したオリジナルボトルを多数販売しています。商品を通じた話題づくりにより、地域振興やPRの一助となっています。

K:オリジナルボトル



「熊本城400年祭」を記念。熊本城と桜をデザインした「桜ボトル」



### ■資材メーカーと協働し、ワンウェイパッケージからリターナブルパッケージへ

宝焼酎220mlタカラカップの外装シュリンクフィルムは、今まで段ボールによって工場へ納入されていましたが、資材メーカーからの提案により、調達ロットの大きいアイテムについては、コンテナにシュリンクフィルムを直接入れて納入する形態に変更しました。

資材メーカーとの協働により、資材調達時のパッケージがワンウェイユースの段ボールからリターナブルパッケージのコンテナとなり、年間約8tの段ボールが削減できました。



従来の段ボール納入形態



コンテナによる納入形態

#### 担当者の声

田中 正広

桶工場 生産課



シュリンクフィルムの納入形態をコンテナ化するにあたり、工場生産設備の一部改造や細かな仕様変更もありましたが関係部署の協力を得て実現することができました。現在は、納入ロットの大きな製品のみコンテナ化されていますが、今後は小ロット製品についてもコンテナ化が図れるよう進めてまいります。

### ■関連団体と連携して社会問題の解決に取り組みます

容器リサイクルについては、業界全体で取り組まなければ解決できない問題がたくさんあります。宝酒造では容器リサイクル団体に加入し、運営も含めた団体の活動に積極的に参加しています。リサイクル団体では、日頃は事業活動で競合しているメンバーがリサイクル推進という共通目的のために知恵を出し合い、効率的なリサイクルシステムの構築や機関誌、ホームページ、展示会出展などを通じて幅広く容器リサイクルの啓発を行っています。



黄色い帽子を着て説明する当社社員 (NEW環境展 PETボトルリサイクル推進協議会ブース)

### ■関連団体と連携してお客様と情報交換を行います

宝酒造のお客様相談室スタッフは、(社)消費者関連専門家会議\*(通称:ACAP/エイキャップ)に所属し、その活動を通じて、政府や府県主催の消費者向けの催しに参加・協力しています。例えば消費者講座での講師を務めたり、展示会でお客様と直接対話することを通じて、情報交換を行っています。

\* (社)消費者関連専門家会議  
さまざまな業種・企業のお客様相談業務に携わる者が会員となっている公益法人